

が、これから新しくつくっていく予定はありますか？

**市長** 新しい催しをどうしていくか皆さんといろいろ相談をしておりますので、新しいものもできていくでしょう。特に赤羽根の場合はサーフィンが盛んで、世界大会などもありますので、そうした際に地元の皆さんと一緒に何かやるようなことを考えたかどうかとか、それから今までやっておられましたような納涼祭も、また形を変えて皆さんと楽しむことができたかと考えております。

**鈴木** 田原中学校の鈴木です。僕は毎年、お祭りに力を入れていきます。「田原まつり」が盛んですが、僕の住んでいる八軒家とか、ほかの地域の人たちとお祭りを行うと、より良いお祭りになると思いますが、どのようにお考えですか？

**市長** 田原まつりは大変歴史がありますけれども、最近は山車とか、打上花火とか、年々盛んになつてきておりますので、だんだん、そうした方向になるのではないのでしょうか。皆さんで力を合わせてより良いものにしていただけたらと思います。

**皆さん緊張はとれましたか？**

**中学生一同** (苦笑)

**市長** ちょっと堅かったかな(笑)。

それでは、続いて田原市のまちづくりなどについて皆さんから質問していただきます。

**一ツ田** なぜ風力発電をしようと思われたのですか？

**市長** 今、皆さんは地球温暖化というか、異常気象のようなものを肌で感じてらっしゃると思います。私たちの生活によって地球環境が変わつたり、地元では川が汚れたり、こうした環境問題というのは21世紀で一番大事な事になってくるのではないかと思えます。こうしたことを考えて、皆さんと一緒に汐川をきれいにする運動などをしていますが、もう一つ、渥美半島の強い風や太陽の光など、地域で持っている環境資源を生かしながら、自分たちでできる温暖化対策を行おうと思ひました。

**一ツ田** 1年間にどれくらいの電力が得られますか？また、その電力は何に使われていますか？

**市長** 市内では工場とか、渥美農業高校とか、個人の方とか、いろいろな方がやつております。市でつくった蔵王山の風車は90キロワットの発電をします。分かりやすく言うと民家270軒分の電力ですので、大きいですよ。得られた電力は電力会社に売っています。お金にすると、展望台に必要な冷暖房や照明の経費を除いて1年で700万円くらい市に入ってきています。重油に換算しますと、ドラム缶1200本分を自然エネルギーでまかなうことになつ

て、CO2(二酸化炭素)を600トン削減していることになりまして、効果は非常に大きくて、役に立っていますね。

**一ツ田** これからも風車を増やす予定がありますか？

**市長** 風車はどこにでも建てられる訳ではなくて、国定公園とか制限があります。田原には臨海に埋立地区がありますね。あそこは工業地帯ですので、風が強いという条件が合えばとてもいいところになります。今回、電源開発さんたちが1基2000キロワット(時間あたり)の風車を11基建てまして、トヨタグループさんもすでに大きい風車を1基建てていますので、全体で田原市内の電力は全部まかなえてしまうくらいの発電ができるのです。ちなみに、トヨタさんの風車は、愛知万博のパビリオンで使用する電力分を発

電するそうです。合わせて12基の風車ができるので、風力発電のまちみたいになってきますね。場所を選びながら、これからはやっていきたいと思ひます。

**一ツ田** 小型の風車が発明されて広まっていると聞きましたが、田原でも普通の家庭などで使用する予定はありますか？

**市長** なかなかいい質問ですね。小型の風車は、めっくんはつすや個人で付けてらっしゃる方もありますが、残念ながら出力が弱いので、もっと技術的に良いものができることを期待しています。家庭や地区の集会所に付けば便利ですよ。あと、低開発国などでうまくできるというなあと思っております。今はまだ太陽光の方が効率が良いですね。東部中学校にも太陽光発電があると思ひますが、市では、太陽光も公共施設



ひとつだちゆき  
一ツ田 知由起さん

東部中学校3年生

すごく楽しくて、歴史のことなど田原に前より興味がわきました。市長さんは明るい方で、すごく田原のことを考えていると思ひました。今年は一つ目標を持って、それに向かってがんばっていきたいです。